観光庁スタート　こう思う　こう望む

（順不同）

理念具現化へ時宜得た創設

根津文博・日本旅行協定旅館ホテル連盟会長

このたびの観光庁の発足は私たちにとって長年の念願であり、心からお喜び申し上げます。近年「観光立国推進基本法」「観光圏整備法」が施行され、明確な理念と目標が提示されていますが、これらを具現化し、同時に観光が産業としての重要性を増していく中で時宜を得た創設であります。日旅連では、日本旅行創業百年を機に新たな旅行価値を求めて、毎年観光シンポジウムを開催し、全国各地の素材発掘と商品化による地域振興を行ってきましたが、窓口の一本化により一層の成果が上げられると期待しています。また、外客誘致事業についても、今後は各地の旅連活動の中で、それぞれの地域特性を生かしながら様々な情報が得られると期待する次第です。

新たな消費拡大へ期待

石川邦大・トップツアー社長

「観光庁」がいよいよ始動します。観光立国が国の重要な政策の柱であると認められた証です。しかし喜んでばかりはいられません。今年国内経済は諸物価の高騰を受け足踏み状態にあります。その中での観光庁の船出は新たな消費拡大に向けて期待がかかります。これまで私たちは旅行会社、宿泊、輸送、観光施設など業態ごとに問題をとらえてきましたが今後は一体となった取り組みが必要です。その中で訪日旅客の拡大は重要なキーワードのひとつ、一過性のブームで終わらせないためにも観光庁とともに協力して取り組まなくてはなりません。今私たちは観光業を国内産業の柱のひとつとして確立する出発点に立ったのです。

健全な経営環境を願う

伴久一・トップツアー協定旅館ホテル連盟会長

トップツアー旅ホ連にとりましても観光庁の創設は悲願であり新設に当たり前祝いと今後観光温泉地の旅館・ホテルの経営の安定に力を注いで下さるようご期待いたします。これまで特に政治的にその設立に尽力された、経産省大臣二階代議士を始め国会議員の方々、さらに永年にわたりその必要性を説いてこられた観光経済新聞社江口社長のご貢献とご労苦にも敬意を表し感謝します。観光庁ができたことにより、業界の諸問題が解決され健全な経営環境が整い社会にとって必要である我々業界が存続されるよう願います。旅ホ連もトップツアーとの経済団体でありますが、会員の安定した経営を望む時、我々は結束して政治的な行動をしてゆきましょう。

あらゆる業界が待ち望む

阿野康春・トップツアー・トップ会会長

我々観光業界のみならず関連するあらゆる業界の人達が待ち望んでいた観光庁が新設されいよいよ10月1日にスタートした。どれほど力強く明るいニュースであったことか。観光庁が設置されたことによってこれから業界がどう変わって行くのか、胸がわくわくする思いです。観光が未来産業であることには間違いありませんが、我々に課せられる問題もたくさんあります。自然破壊、環境問題、食の安全等々、情報化時代に外国人を含む観光客のニーズにどう答えられるか、各々が地域が一丸となって取り組まなければなりません。何はともあれ観光立国が確立されますよう切に望んでやみません。

魅力ある国・地域づくりへ

清野智・東日本旅客鉄道社長

「観光立国」の実現に向けて力を注いできたJR東日本としては、観光を統括する行政組織である観光庁が新設されることは、大変喜ばしいことであると歓迎しております。当社としては、訪日外国人旅行客の誘致を目的としたビジット・ジャパン・キャンペーンや地方自治体等と連携したデスティネーション・キャンペーンを実施するなど、様々な取り組みを行ってまいりました。今後も、観光庁を始めとした関連省庁との連携を密にし、地域の方々とともに、魅力ある国・地域づくりにむけ、引き続き取り組んで参りたいと考えております。

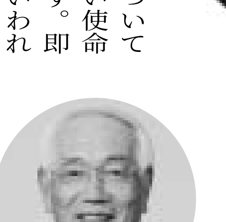
幅の広い連携協働が前提

須田寛・東海旅客鉄道相談役

今観光の振興について次の理由から大きい使命が課せられています。即ち、大交流時代といわれる21世紀にあって観光を通じて国際間交流を促進し新しい世界文化創造に国としての役割を果たすこと、さらに観光によって地域経済の活性化を図り交流人口増による豊かな地域づくりを進めることであります。観光は官民等多くの関係者の幅広い連携協働が前提となります。観光庁がインバウンドや基盤整備ではプロモーターとして、また連携協働の中ではよきコーディネーターとしての役割を果たすことを期待します。我々関係者も観光庁と連携協働して観光立国に努める決意であります。

観光は新たなステージに

松本正之・東海旅客鉄道社長



世界の人の動きや、日本人の生活様式、さらには旅行に対するニーズが多様化している現在、観光に求められるものは年々大きくなっていきます。このような時期に観光庁が10月1日に発足し、観光業界は新たなステージへ入りました。当社は、東海道新幹線や東海地区の在来線の鉄道輸送を基礎に、京都や奈良など日本の歴史や文化遺産を社会に広めていくとともに、地元とのつながりを強化した組織づくりや、地元の協力で作られた魅力を旅行商品に反映するなどして当社ならではの観光促進につながる活動を行ってきており、今後さらにその努力を続けます。そのような立場から、新しくスタートした観光庁が国内外の観光行政のけん引役として大きな歩みをされるよう期待いたします。

官民挙げて交流拡大を

松田清宏・四国旅客鉄道社長

待望の観光庁スタート、期待に胸躍る気分で迎えました。観光はまさにその地域の「光を観る」もので、訪れる人、迎える人の相互理解を深め、人・自然・文化・歴史等々、多方面での交流拡大に資するものと思います。国としてこのような動きを強力にリードする体制が整ったことに意を強くし、今度はそれぞれの地域が魅力アップに力を注ぐこと、魅力の発信に意を用いることが肝要と考えます。四国においても遅ればせながらこのような気運が盛り上がっており、官民を挙げて観光と交流拡大への取り組みが、観光庁スタートと時期を合わせて実現できることを期待しています。

観光立国推進の旗手として

石原進・九州旅客鉄道社長

観光庁の発足おめでとうございます。現在、地方は経済活力の低下に悩んでいます。観光は、1次産業から3次産業まで経済波及効果が大きく、地域活性化にとって極めて重要な産業です。観光庁においては、従前の縦割り行政や規制の解消に努め、地方や民間の創意工夫を高め、支援する等の実効的な取り組みを行い、〝観光立国〟推進の旗手となることを期待しています。

真の観光立国へ発展を期待

磯田光治・JRグループ協定旅館ホテル連盟会長

現在、日本経済は少子高齢化、物価高騰、景気後退といった多くのマイナス要素を抱えているなか、悲願であったというべき観光庁が創設されたことは観光業界も大きな影響を受けるものと思われます。観光庁が創設されることで、今後、観光に関わる行政活動が一元化され、時代にフィットしたより一層スムーズでスピーディーな政策が実現されるとともに、対外的な発信力の強化により2020年までに訪日外国人旅行者2千万人に拡大という目標の実現に向け具体的な政策の実施を図り、これによって地域再生を図り我が国の真の「観光立国」へと発展していくことを心より期待しています。

旅行需要の再生に向けて

西松遙・日本航空社長

ツーリズム業界が心待ちにしていた観光庁の業務スタートにあたり心よりお祝いを申し上げます。日本人の嗜好変化により、旅行需要の減少が顕著になりつつありますが、旅の楽しさと素晴らしさはいつの時代でも変わるものではありません。旅行需要の再生に向け、観光庁が様々な分野で新規の政策を展開され、またツーリズム産業に携わる全関係者の取りまとめ役としてリーダーシップを発揮されることをお祈り申し上げます。

国家的観点で戦略立案を

須藤元・ジャルツアーズ社長

我々の悲願であった観光庁のスタートおめでとうございます。発足にあたり、以下のとおりお願い申し上げます。一、国家的観点に立って観光戦略の立案と実施、そして各地域の観光需要開発のサポート強化。二、自治体は、なかなかメリハリのついた観光誘致が難しいため、予算面から重点的施策の実施。三、首相や財界トップが海外に出かけられた時に観光誘致を売り込むスキームの立案および働きかけ。四、諸外国の旅行会社を毎年、日本に呼んでセミナー・ワークショップ実施。五、観光インフラ強化のために大幅な予算獲得。ぜひ民間の力を使いながら強力に推進して頂きたいと思います。

強い連携で観光立国推進

萱場成郎・ジャルセールス社長

VISIT JAPAN CAMPAIGN、VISIT WORLD CAMPAIGNなど官民一体となった積極展開のなか、観光立国実現への大きな弾みとなる観光庁の新設を、たいへん喜ばしく思います。JALグループを取り巻く環境も、2010年の羽田空港新滑走路の完成、成田空港滑走路の延長などにより好機が訪れようとしています。原油高で客足が遠のいた旅行業界に活気を取り戻すべく、JALグループ一丸となり邁進していきたいと思います。そのためにも、JALグループ販売部門である弊社は、旅行会社の皆さまと、より強い連携を図り観光立国を推進していきたいと思います。

国挙げて取り組む体制強化

山元峯生・全日本空輸社長

観光庁の設立、おめでとうございます。設立により国を挙げて「住んでよし、訪れてよしの国づくり」に取り組む体制が強化されました。魅力ある観光地づくりの支援、外国人観光客の来訪促進などを通じて、国際観光の振興が図られるものと大いに期待しています。ANAと致しましても、日本と世界の相互理解の促進と交流の拡大のお役に立てれば、大変に嬉しく思います。

新生観光庁と協力協調共生

小島弘・阪急阪神交通社ホールディングス社長

業界待望の「観光庁」が発足、誠におめでとうございます。観光産業の一翼を担う我々旅行業界にとりまして大変心強く心よりお祝い申し上げます。このところ観光産業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にありますが旅行業界は海外旅行・国内旅行・訪日旅行とも需要喚起と市場拡大のため一体となって諸施策に取り組まねばなりません。現在私どもは業界としてVJC・VWCに注力していますが新生「観光庁」の強力なサポートをお願いしながら、日本の将来を担うリーディング産業になるよう協力協調共生したいと思います。

行政と業界の補完体制を

中島四郎・読売旅行契約指定協会会長

観光庁の新発足、誠におめでとうございます。原油高騰による諸物価の値上がりや、米国サブプライムローン問題に端を発した景気の減退の中で、消費者の旅行意欲の縮小や意識と行動の変化という現実にいかに対処してゆくのか、会員個々の自助努力に自ずと限界があります。さらに、金融面や人材の育成、魅力ある観光地の形成や整備、インバウンド対策等、短・長期にわたる問題が山積しております。まさに、待望久しい観光庁の始動にあたり、従来の縦割り行政の弊害等を極力排し、行政と業界が効率的に補完体制を整え、新しいビジョンに向かい真価を発揮されると期待いたします。

地位向上へ積極的指導を

日垣信三・農協観光協定旅館ホテル連盟会長理事

観光立国推進の旗振り役として「観光庁」が始動し、観光産業が未来産業として重要な役割を果たし、社会的な地位向上が図れるよう積極的なご指導を期待申し上げます。高度経済発展の中、日陰の身であり、取り残された観光産業が平和産業の礎として陽があてられ重要視されることは大変意義深いものと思っております。少子高齢化、高度情報化や環境問題への対応など様々な課題が地方経済を覆っており疲弊しております。宿泊業においても、好転しない経営環境との闘いの連続ですが、そんな折に観光行政が一本化されることは体中に血が巡り、元気回復の即効手段になります。その源は増え続けるインバウンド顧客であり、日帰りの食育顧客であり、常に市場を刺激し需要を喚起し続けることが肝要になると思います。需要があれば観光産業は地方経済のパイプ役として、社会的・文化的に十分な機能を発揮し、産業としての足場が確固たるものになります。そのための自助努力も備えており、役割を果たす力量ももっております。多種多様な旅行者ニーズの変化に対応した施策をどんどん提案され、観光立国推進に邁進され、観光業界の発展をリードして頂きたく切望する次第です。

観光庁創設　おめでとうございます

真の連携・更なる活性化へ向けて共に歩もう!!

TAB'X　株式会社タビックスジャパン

〒104−8535　東京都中央区八丁堀1−2−8　タビックスビル

TEL.03−6280−9000（代）　FAX.03−6280−9020

会社との関係を強化し、共存共栄の道を!!

TAB'X　タビックス ジャパン 協定

タビックスジャパン協定旅館ホテル連盟
タビックスジャパン協定施設運輸連盟

〒104−8535　東京都中央区八丁堀1−2−8　タビックスビル

本部事務局　TEL.03−6280−9023　FAX.03−6280−9019